

公益財団法人大阪YMCA 2023年度事業計画

公益財団法人大阪YMCA事業（定款記載）

- (1)自然体験、スポーツ及び文化活動等を通して心身の発達を支援する事業
- (2)野外活動施設の運営を通して利用者及び指導者を対象とした教育・研修事業等を企画・実施する事業
- (3)国際的な感覚を養うための教育や研修等に関する事業
- (4)福祉の増進と支援に関する事業
- (5)大阪YMCA会館内の各種施設の運営管理
- (6)旅行業法に基づく旅行業
- (7)児童福祉法に基づく障がい児通所支援事業
- (8)介護・福祉に従事する介護職員・相談援助職員等の教育・研修及び養成事業

公益目的事業 I

青少年をはじめとするすべての世代の人々が、心身の発達と人格の向上を図るために、自らの潜在的な可能性を最大限に求め、身体的健康、精神的健康、知的健康、情緒的健康、社会的健康のそれぞれについて、各要素間でのバランスを大切にしつつ全体を統合させ、全体としてより良い状態に高めること、及び地球に生きる一人の市民として世界の中での課題に取り組み、平和で公正な世界を目指す事業

1. ウェルネス事業

A. 自然体験活動

自然の中でのグループ生活体験を通して、自然と人間との関わりあいを知り、参加者の健全なる心身の成長、発達を促すために、年間を通しての定期的な野外活動プログラムや、春夏冬の各休暇における日帰り及び宿泊特別プログラム（キャンププログラム）及び学校・地域団体から要請に基づく野外活動プログラムの指導を行う。

1. 通年プログラム 登録者 約 600 人 年間活動費 42,350 円（年 11 回）
参加費（日帰り） 3,500 円～7,000 円
（宿 泊） 20,000 円～25,000 円
2. 特別プログラム 日帰り参加者 約 600 人 参加費 22,000 円～28,000 円（4 回）
宿泊参加者 夏 約 400 人、冬 約 300 人、春 約 300 人
参加費（1 泊 2 日） 25,000 円程度
（3 泊 4 日） 50,000 円程度
（スキー 4 泊 5 日） 90,000 円程度

B. スポーツ活動

各年齢に必要な基礎体力・運動技能・安全に関する知識を習得し、他者を思いやる心やフェアプレーの精神、健康的な生活に必要な習慣や態度を養うために、年間を通しての各種スポーツプログラムや、春夏冬の各休暇における特別プログラム、講習会、幼稚園等における体育指導等の体験活動を行う。

1. 通年プログラム（幼児小学生サッカー等各種スポーツ、水泳）
参加者 サッカー 600人、その他スポーツ 約1,200人、水泳 約1,300人
参加費 5,700～7,700円
2. 特別プログラム（小学生サッカー等各種スポーツ、水泳）
日帰り参加者 夏 水泳 約500人、各種スポーツ 計約700人
冬春 水泳 約200人、冬春各種スポーツ 計約600人
参加費 4,800～9,000円
3. 幼稚園等への体育指導 約20ヶ所 指導費/1回 10,000～20,000円

C. 生活・教養活動

1. 未就園児を対象とし、集団生活のルールを楽しむの経験の中から習得する一方、保護者に対する子育て支援活動を行うために、プレスクール活動を行う。また親子の繋がりを深める親子あそびプログラムや親子体操プログラム、子育て支援セミナー等を開催する。
プレスクール 参加者 約50人 参加費 8,300～19,700円
親子プログラム 参加者 約600人 参加費 500～1,500円
子育て支援セミナー（年間3回）参加者 約100人 参加費 無料
2. 多様な気づきや、自己表現力を養うことを目的とする生活・教養教室を開催する。
学習教室、ダンス教室、チアリーディング教室等
参加者 約900人 参加費 5,700～7,900円/1回

D. 宿泊研修施設運営

自然体験活動を行うための宿泊研修施設の運営を行う。

1. YMC A阿南国際海洋センター（徳島県阿南市）（年間利用者 約6,000人）
2. 呼子高原センター（鳥取県日野郡日南町）（年間利用者 約50人）
3. 和泉市立青少年の家・槇尾山森林浴コース（大阪府和泉市）
指定管理受託（年間利用者 約14,000人）

2. リーダーシップ養成

野外体験活動、体育活動及び地域活動事業にボランティアとして関わることにより、地域社会に貢献できる人材を育成するリーダーシップを養成する。国際感覚を身に付けるための海外研修や日本に居る外国人とのふれあいを体験する。命を預かる青少年活動指導者として救急法などを学び、安全教育の視点を大切にする。

年間登録ボランティア 約120人

3. 地域活動支援事業

地域の人々が共に生きる社会を実現し、地域の活性化を図りながら、新しいリーダーシップを持った人材の育成やネットワークを形成することを目的とするために、自治体や各種団体と協力し、ボランティアと共に支援プログラムを企画・実施する。また、自然災害に伴う被災地復興支援活動等を行う。

1. 法人が主体の活動

- ・様々な障がいを持つ子どもたちへの支援を目的とする「チャリティーラン」
- ・国際青少年団体である特徴を活かし行う「聴覚障がい青少年国際キャンプ」
- ・児童養護施設の児童の招待キャンプ
- ・地域活動ボランティア養成講習会
- ・地域の高齢者介護予防ボランティア養成講習会

2. 各支部が主体の活動

- ・子育て支援活動
- ・アフタースクール事業
- ・地域交流の支援活動
- ・障がい児の水泳教室（エンジェルスイミング）
- ・指定障がい児通所支援事業
- ・普通救命救急法講習会
- ・環境教育ワークショップ
- ・高齢者健康づくりセミナー
- ・ヤングケアラー関係機関職員研修
- ・被災地復興支援（ボランティア派遣等）
- ・水上安全キャンペーン活動

3. 指定管理施設運営

堺市立青少年センター、堺市立青少年の家

（主催事業年間延参加者 約 23,200 人） （内公益事業 23,200 人）

※宿泊研修施設

和泉市立青少年の家

（主催事業年間延参加者 約 750 人） （内公益事業 750 人）

4. 国際教育・文化交流事業

A. ランゲージスクール

インターナショナルスクール体験型プログラムの I K P（インターナショナル・キッズ・プログラム）を北摂地域などで展開する。

参加者 約 15 人 参加費 12,000～14,000 円

B. 国際交流プログラム事業

東アジア諸国を中心に人材養成と対象地域の課題解決の為にボランティアを派遣するとともに、諸外国からの受け入れも行う。

また、世界各国にある Y M C A と協働し、様々な支援活動や国際協力募金活動、被災地支援募金活動を行う。

1. 海外スタッフ交流

受入先：大阪 Y M C A

受入期間：2023 年 4 月～2024 年 3 月

受入者：ホノルル・シンガポール・ビクトリア・台北等各 Y M C A スタッフ

内 容：大阪 Y M C A におけるキャンプ事業指導・研修及び日本語学習

2. 国際インターンシッププログラム

実施場所：①YMC A阿南国際海洋センター

実施期間：2023年6月中旬～8月下旬

参加者：①海外YMC A所属（YMCA アジア太平洋アーバンネットワーク他）のユースボランティア 5名

②台湾・韓国・オーストラリア各YMC Aのユースボランティア 5名

内容：キャンプ場でのサマーキャンプ、国際交流プログラムをとおして異文化理解を深めながらグローバルリーダーシップの育成活動を行う。

実施場所：地域YMC A（土佐堀、南）

実施期間：2023年7月下旬～8月中旬

参加者：海外YMC A所属（YMCA アジア太平洋アーバンネットワーク他）のユースボランティア各2名

内容：地域活動及びユーススポーツプログラムへの参加をとおして異文化理解を深めながらユースボランティアとして活動を行う。

3. 東南アジア教育支援ワークキャンププログラム

実施場所：ミャンマー（ヤンゴン・マンダレー）

実施期間：2023年12月下旬

参加者：スタッフ・ボランティア 10名

内容：ミャンマーの人々との交流をとおして平和、支援等について理解を深める。

4. 国際交流プログラム

*アジア太平洋YMC Aユーススポーツ大会

実施場所：①ソウル ②台北 ③大阪

実施期間：2023年8月

参加者：スタッフ・ボランティア・キッズ 200名

内容：①サッカー ②水泳 ③バスケット

ユーススポーツのアジア太平洋大会を各国の主催で開催し、スポーツを通じたユースの国際交流を促進する。

*グローバルユースカンファレンス

実施場所：オンライン

実施期間：2023年8月

参加者：世界各国ユース 100名

内容：ユース世代を対象として政治、社会、教育などの現場で実際に行動できる人材の育成を目的とした国際交流会議を開催し、グローバルリーダーシップの育成を推進する。

5. 留学生支援

国際奨学金として、専門学校留学生、日本語学校留学生への支援を行う。

年間支給者 31名 年間支給額 3,820,000円

公益目的事業Ⅱ

高齢社会において地域住民が地域活動の重要性を認識し、地域住民自らが高齢社会の支え手となり、高齢者自身も、元気で自立した生活を営むことを目指す福祉活動増進事業

1. 中高齢者に関する講座・セミナー事業

1. 介護予防に関連するボランティア養成講座を実施する。
年間 2 回 約 20 人 参加費無料
2. 介護・介護予防セミナーを実施する。
年間 6 回 約 300 人

2. 福祉関連人材養成研修事業

1. 大阪府介護支援専門員資格更新・現任者研修を実施する。
年間約 154 日実施 のべ 24,000 人
2. 介護支援専門員資質向上研修・地域包括支援センター職員等福祉専門職研修を実施する。
年間約 12 日実施 のべ 600 人
3. 介護福祉士実務者研修（通信）を実施する。
年間約 1 回実施 20 人
4. 介護職員初任者研修を実施する。
年間約 1 回実施 20 人

3. 体験活動事業

多様な体験活動を通じて、中高齢者が同世代、異世代の人々と交流し、新しい学びと気づきを得ることにより、生き生きとしたライフスタイルを確立することを目指す講座を実施する。

1. 生き生きライフ講座
年間約 7 日実施 のべ 100 人
2. 車椅子体験
年間 2 回 のべ 50 人

4. 調査・研究事業

1. 「日本と台湾の高齢者における口腔機能と体力の相関に関する比較研究」を実施する。
年間 4 回（介入前、介入後、評価）
調査対象 高齢者 120 人
自立高齢者への口腔機能向上プログラム介入が、身体機能や口腔機能の維持に影響する因子を検討する。合わせて日本と同様の高齢化が進む台湾でも行い、本邦と台湾の比較および自立高齢者の機能低下予測モデルを構築し健康維持のためのプログラムを開発研究することである。調査で得られたデータをもとに、アカデミアで発表するとともに健康促進改善の試行プログラムを策定し社会に還元する。